

マリキナ配合顆粒

【この薬は？】

販売名	マリキナ配合顆粒 MARIKINA Granules
一般名	サリチルアミド Salicylamide アセトアミノフェン Acetaminophen 無水カフェイン Anhydrous Caffeine プロメタジンメチレンジサリチル酸塩 Promethazine Methylenedisalicylate
含有量 (1g中)	サリチルアミド 270mg アセトアミノフェン 150mg 無水カフェイン 60mg プロメタジンメチレンジサリチル酸塩 13.5mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、「医薬品医療機器情報提供ホームページ」
<http://www.info.pmda.go.jp/> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、総合感冒剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、熱を下げて、痛みや鼻水・鼻づまりや不快感などの症状をやわらげます。
- ・次の目的で処方されます。

感冒若しくは上気道炎に伴う下記症状の改善及び緩和

鼻汁、鼻閉、咽・喉頭痛、頭痛、関節痛、筋肉痛、発熱

この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したり

すると本来の効果が得られないことがあります。指示どおりに飲むことが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- この薬に含まれるアセトアミノフェンにより、肝臓に重篤な障害（からだがだるい、白目が黄色くなる、吐き気、嘔吐（おうと）、食欲不振、皮膚が黄色くなるなど）があらわれることがあるので、このような症状があらわれた場合はすぐに医師に連絡してください。
- アセトアミノフェンを含む他の薬（市販のかぜ薬などにも含まれていることがあります。）を使用している場合は、医師に伝えてください。
- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・過去にマリキナ配合顆粒に含まれる成分、サリチル酸製剤（アスピリンなど）、フェノチアジン系化合物またはその類似化合物で過敏な反応を経験したことがある人
 - ・消化性潰瘍のある人
 - ・アスピリン喘息または過去にアスピリン喘息になったことがある人
 - ・昏睡状態の人またはバルビツール酸誘導体・麻酔剤などの中枢神経抑制剤を使用している人
 - ・緑内障の人
 - ・前立腺肥大など下部尿路に閉塞性疾患のある人
 - ・2歳未満の乳幼児
 - ・肝臓に重篤な障害のある人
- 次の人は、原則として、この薬を使用することはできません。
 - ・15歳未満の水痘（みずぼうそう）、インフルエンザの人
- 次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。
 - ・肝臓や腎臓に障害のある人
 - ・出血しやすい人
 - ・気管支喘息のある人
 - ・毎日多量に飲酒している人
 - ・絶食・栄養状態が悪い・摂食障害などによるグルタチオン欠乏の人、脱水症状のある人
- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

1回量	1g
飲む回数	1日4回

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。気がついた時に、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

アセトアミノフェンにより、肝臓に重篤な障害（からだがだるい、白目が黄色くなる、吐き気、嘔吐（おうと）、食欲不振、皮膚が黄色くなるなど）があらわれるおそれがありますので、ただちに受診してください。過量使用の治療薬として、アセチルシステインがあります。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・眠くなったりすることがあるので、自動車の運転などの危険を伴う機械の操作はしないでください。
- ・アセトアミノフェンを含む他の薬（市販のかぜ薬などにも含まれていることがあります。）を使用している場合は、医師に伝えてください。
- ・アルコールを含む飲食物はこの薬に影響しますので、避けてください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳中の方は長期間飲まないでください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
ショック ショック	冷や汗、めまい、意識がうすれる、考えがまとまらない、血の気が引く、息切れ、判断力の低下
アナフィラキシー様症状 アナフィラキシーようしょうじょう	からだがだるい、ふらつき、意識の低下、考えがまとまらない、ほてり、眼と口唇のまわりのはれ、しゃがれ声、息苦しい、息切れ、動悸（どうき）、じんましん、判断力の低下
中毒性表皮壊死融解症 (Toxic Epidermal Necrolysis : TEN) ちゅうどくせいひょうひえしゆうかいしょう（トキシック エピダーマル ネクロライシス：テン）	からだがだるい、関節の痛み、全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ(水疱)、発熱、食欲不振



皮膚粘膜眼症候群 (Stevens-Johnson症候群) ひふねんまくがんしょうこうぐん (ス ティーブンスジョンソンしょうこうぐ ん)	からだがだるい、高熱、発熱、まぶたや眼の充血、結膜 のただれ、ひどい口内炎、唇や口内のただれ、食欲不振、 赤い発疹、中央にむくみをともなった赤い斑点、陰部の 痛み
急性汎発性発疹性膿疱症 きゅうせいはんぱつせいほっしんせい のうほうしょう	からだがだるい、高熱、皮膚の広い範囲が赤くなる、赤 くなつた皮膚上に小さなブツブツ（小膿疱）が出る、食 欲不振
剥脱性皮膚炎 はくだつせいひふえん	発熱、かさぶた、全身の発赤、皮膚がはがれおちる
再生不良性貧血 さいせいふりょうせいひんけつ	めまい、鼻血、歯ぐきの出血、階段や坂を上る時の動悸 （どうき）や息切れ、息切れ、動悸（どうき）、あおあ ざができる、出血が止まりにくい
汎血球減少 はんけつきゅうげんしょう	めまい、鼻血、耳鳴り、歯ぐきの出血、息切れ、動悸（ど うき）、あおあざができる、出血しやすい
無顆粒球症 むかりゅうきゅうしょう	発熱、のどの痛み
溶血性貧血 ようけつせいひんけつ	からだがだるい、ふらつき、疲れやすい、立ちくらみ、 めまい、頭が重い、白目が黄色くなる、動く時の動悸（ど うき）や息切れ、皮膚が黄色くなる、褐色尿
血小板減少 けっしょうばんげんしょう	鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、皮下出血、出 血が止まりにくい
喘息発作の誘発 ぜんそくほっさのゆうはつ	ヒューヒュー音がする、息をするときヒューヒューと音 がする、息苦しい、息切れ
間質性肺炎 かんしつせいはいえん	発熱、から咳、息苦しい、息切れ
好酸球性肺炎 こうさんきゅうせいはいえん	発熱、から咳、息切れ
劇症肝炎 げきしょうかんえん	発熱、意識がなくなる、意識の低下、考えがまとまらない 、頭痛、白目が黄色くなる、吐き気、嘔吐（おうと）、 食欲不振、羽ばたくような手のふるえ、皮膚が黄色くなる 、尿の色が濃くなる、判断力の低下
肝機能障害 かんきのうしょうがい	からだがだるい、白目が黄色くなる、吐き気、嘔吐（お うと）、食欲不振、かゆみ、皮膚が黄色くなる、尿の色 が濃くなる
黄疸 おうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿が褐色になる
乳児突然死症候群（SIDS） にゅうじとつぜんししょうこうぐん （エスアイディーエス）	健康な乳児が突然死因不明で死亡する
乳児睡眠時無呼吸発作 にゅうじすいみんじむこきゅうほっさ	睡眠時に呼吸が10秒以上とまった状態になる
間質性腎炎 かんしつせいじんえん	関節の痛み、発熱、頭痛、膨れあがる感じ、血尿
急性腎不全 きゅうせいじんふぜん	からだがだるい、からだのむくみ、疲れやすい、意識の 低下、頭痛、眼がはればつたい、息苦しい、尿量が減る

横紋筋融解症 おうもんきんゆうかいしょう	脱力感、手のしびれ、手足のこわばり、足のしびれ、筋肉の痛み、赤褐色尿
緑内障 りょくないしょう	頭痛、眼の痛み、視力の低下、吐き気

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷や汗、からだのだるい、ふらつき、関節の痛み、全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ(水疱)、発熱、高熱、疲れやすい、立ちくらみ、からだのむくみ、脱力感
頭部	めまい、意識がうすれる、考えがまとまらない、意識の低下、頭が重い、意識がなくなる、頭痛
顔面	血の気が引く、ほてり、鼻血
眼	眼と口唇のまわりのはれ、まぶたや眼の充血、結膜のただれ、白目が黄色くなる、眼がはれぼったい、眼の痛み、視力の低下
耳	耳鳴り
口や喉	しゃがれ声、眼と口唇のまわりのはれ、ひどい口内炎、唇や口内のただれ、歯ぐきの出血、のどの痛み、ヒューヒュー音がする、息をするときヒューヒューと音がする、から咳、吐き気、嘔吐(おうと)
胸部	息切れ、息苦しい、動悸(どうき)、階段や坂を上る時の動悸(どうき)や息切れ、動く時の動悸(どうき)や息切れ、吐き気
腹部	食欲不振、吐き気、膨れあがる感じ
手・足	関節の痛み、羽ばたくような手のふるえ、手のしびれ、手足のこわばり、足のしびれ
皮膚	じんましん、赤い発疹、中央にむくみをともなった赤い斑点、皮膚の広い範囲が赤くなる、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ(小膿疱)が出る、かさぶた、全身の発赤、皮膚がはがれおちる、あおあざができる、皮膚が黄色くなる、皮下出血、かゆみ
筋肉	筋肉の痛み
尿	褐色尿、尿の色が濃くなる、尿が褐色になる、血尿、尿量が減る、赤褐色尿
その他	判断力の低下、陰部の痛み、出血が止まりにくい、出血しやすい、健康な乳児が突然死因不明で死亡する、睡眠時に呼吸が10秒以上とまった状態になる

【この薬の形は？】

形状	<p style="text-align: center;">顆粒剤</p> 
SP シート	
色	白色

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	サリチルアミド、アセトアミノフェン、無水カフェイン、プロメタジンメチレンジサリチル酸塩
添加物	白糖、トウモロコシデンプン、軽質無水ケイ酸、ヒドロキシプロピルセルロース、含水二酸化ケイ素

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：鶴原製薬株式会社 (<http://www.tsuruhara-seiyaku.co.jp>)

医薬情報部：072-761-1456(代表)

受付時間：月～金曜日 9:00～17:30(祝祭日を除く)